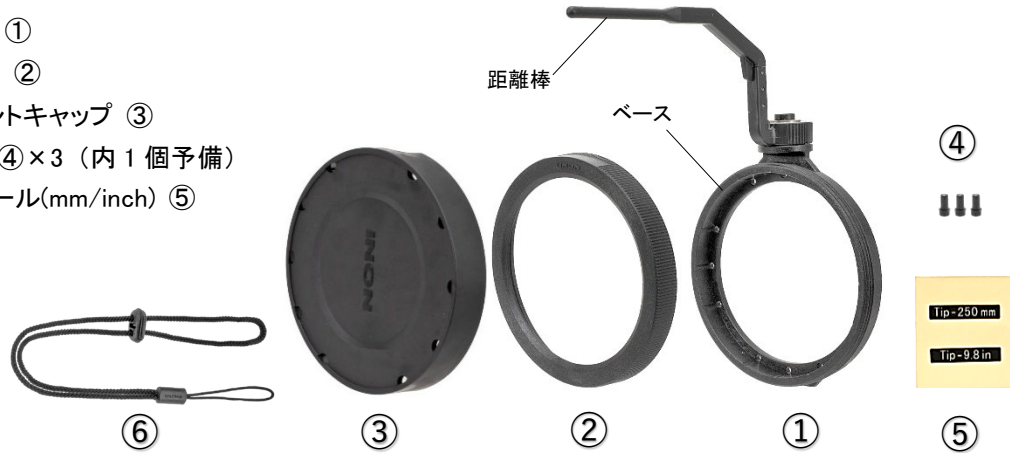


# INON

## イノン 接写装置 for UCL-G165 II

### 製品内訳

- ・ 接写装置本体 ①
- ・ レンズ押さえ環 ②
- ・ 接写装置フロントキャップ ③
- ・ 回転止めピン ④×3 (内1個予備)
- ・ 被写界深度シール(mm/inch) ⑤
- ・ ストラップ ⑥
- ・ ポーチ



### 対応製品

- イノン 水中ワイドクローズアップレンズ「UCL-G165 II SD」
- イノン 水中ワイドクローズアップレンズ「UCL-G165 II ZD」

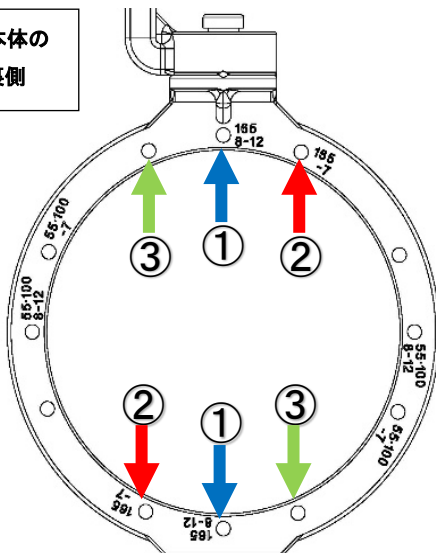
(※)同シリーズ「UCL-G165 II M55」、及び前モデル「UCL-G165 SD」は対応していません。

### レンズに接写装置を装着する

- ① 接写装置本体のベース裏側から、「回転止めピン」を指定の穴2箇所に挿し込みます。

回転止めピンを挿し込む穴の位置は、使用する「フロントマスク」によって異なります。下図/下表に従って回転止めピンを挿し込み、六角レンチや硬貨などの硬い物を用いて、最後まで強く押し込んでください。

接写装置本体の  
ベース裏側



フロントマスク	回転止めピン 挿し込み位置
ZD フロントマスク for HERO12	③
ZD フロントマスク for Ace Pro 2	
ZD フロントマスク for Ace Pro	
ZD フロントマスク for GO Ultra	
ZD フロントマスク for Osmo Action 6	
ZD フロントマスク for Osmo Action 5 Pro	
SD フロントマスク for GO 3S	①
SD フロントマスク for HERO9	
SD フロントマスク for HERO8	
SD フロントマスク for HERO5/6/7	②
SD フロントマスク STD	



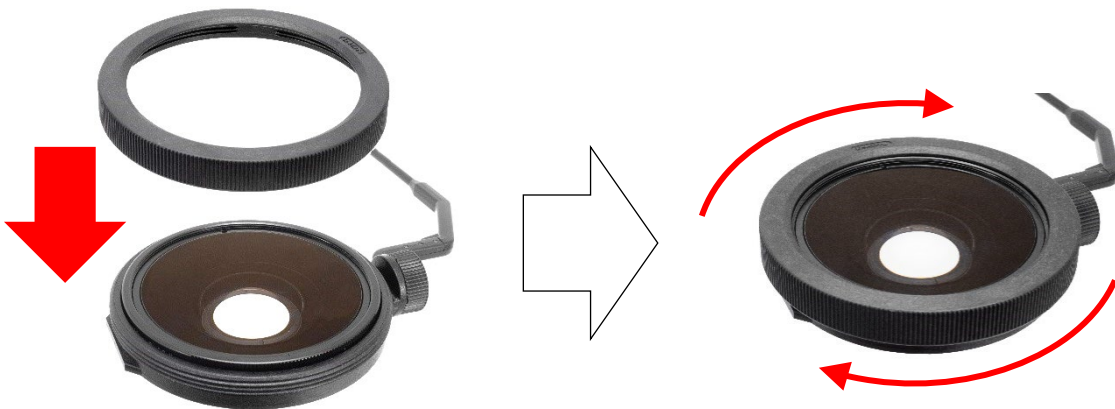
(レンズに接写装置を装着する のつづき)

② 接写装置本体のベース表側から突き出した「回転止めピン」と、レンズ本体の“溝”を合わせます。



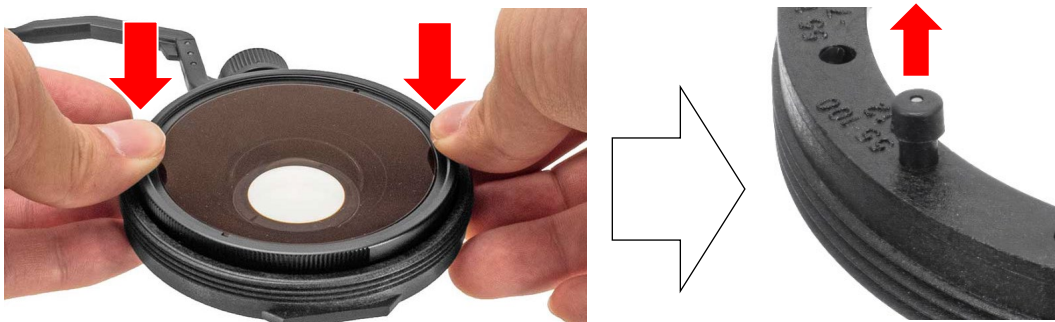
③ 「レンズ押さえ環」で、接写装置本体とレンズ本体を固定します。

②の状態を維持したまま、「レンズ押さえ環」を被せ、接写装置本体のネジ部にねじ込みます。  
レンズ押さえ環を強く締め付け過ぎないように注意して下さい。



#### 回転止めピンの取り外す場合

回転止めピンとレンズ本体の溝の位置をずらしてレンズを入れ、ベースを押さえながらパチンという音がするまで押し込み、裏側から飛び出した回転止めピンを抜き取ります。  
抜き取りにくい場合はペンチ等で軽くつかんで引き抜いて下さい。



### 被写界深度シール

レンズ押さえ環の側面 (INON ロゴ下) に  
付属の「被写界深度シール」を貼って下さい。



### 接写装置フロントキャップ / ストラップ

接写装置の装着時専用のフロントキャップです。  
付属のストラップを取り付け可能です。



### 距離棒のセッティング

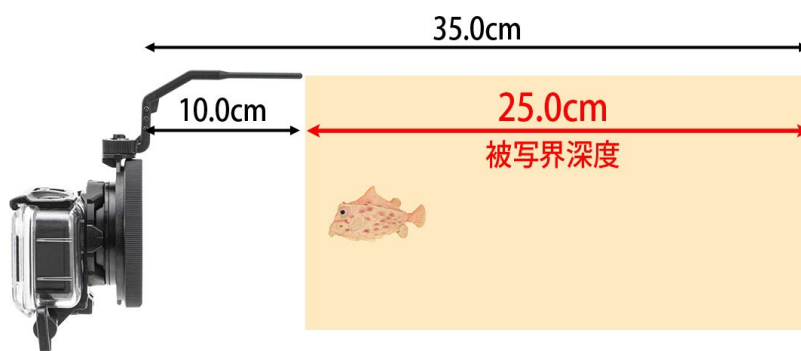
- ・ フロントマスクへの取り付け角度によって、距離棒を上または下のいずれかにセット可能です。
- ・ 距離棒は根元から 360° 回転し、90° ごとのクリックを設けているので、不要な場合は瞬時に回転させることが可能です。



### 接写装置を利用してピントを合わせる

UCL-G165 II (SD/ZD)は、レンズ前 10cm~35cm の範囲内でピントが合います。  
接写装置の距離棒を目安にすることで、ピント合わせを確実に行うことができます。

- 距離棒の先端・・・ ピントの合う最短撮影距離
- 距離棒の先端から 25cm …… ピントの合う範囲 (被写界深度)



### 撮影に関するご注意

- カメラ毎の対応する撮影モードの設定につきましては、弊社ホームページ上で公開しております「対応表」をご確認下さい。

## 取り扱い上の注意

- 本製品取り付け後のカメラシステム運搬時等は、本製品（レンズ本体や接写装置の棒部分等）のみを持たず、カメラシステム全体をしっかりと持ってください。また、過度な衝撃や振動、無理な力を与えない様、十分ご注意ください。

## メンテナンスについて

- ご使用後はレンズ本体から取り外し、真水で水洗いを行い塩分等の汚れを取り除いた後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、よく乾燥させて下さい。変形や破損の原因になる為、火や熱などに直接当てないで下さい。
- お手入れの際、アルコールやベンジン、シントナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤、洗剤(特にアルカリ性洗剤)などの油脂/化学薬品を使用しないで下さい。本製品の構成部品には、上記物質に触れると溶けたり、脆くなったりといった変化が起こるものがあります。

## 保管上の注意

- 乾燥後は、直射日光の当たらない、風通しの良く乾燥した場所で保管して下さい。薬品(樟脳やナフタリンなど)の雰囲気下や、寒冷/高温/多湿環境下、温度変化の激しい場所での保管は避けて下さい。変形や破損、カビ/錆の発生、腐蝕等の原因となります。
- お子様の手の届かない所に保管して下さい。付属品や小さな部品等を誤って飲み込む恐れがあります。万が一付属品や小さな部品等を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談下さい。

## 仕様

### イノン 接写装置 for UCL-G165 II 主要性能 (\*1)

名称	接写装置 for UCL-G165 II
寸法	<b>UCL-G165 II (SD/ZD)装着時</b> W91×H141×D125mm[距離棒使用時] W110×H141×D29mm[距離棒収納時]
重量	41g (接写装置単体・陸上)  <b>UCL-G165 II SD 装着時</b> 246g (陸上) / 135g (水中)  <b>UCL-G165 II ZD 装着時</b> 252g (陸上) / 139g (水中)
本体材質 / 表面処理	ABS、ポリカーボネート等

(\*1) 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

(\*2) 本書内に記載されている全てのブランド名、商品名及び機能名は、各メーカーの商標または登録商標です。

株式会社 イノン  
〒247-0061  
神奈川県鎌倉市台 2-18-9  
Tel. 0467-48-2174  
Fax. 0467-48-2178  
E-mail [support@inon.co.jp](mailto:support@inon.co.jp)  
URL <http://www.inon.co.jp/>

2026 年 2 月